



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2017年3月期 第2四半期

2016年4月1日～2016年9月30日



広がる
未来、
新しい時代
へ発進



2016年12月
代表取締役社長

高田 真治

さらなる成長を見据え、
「中期経営計画2020」で掲げた
新たな成長戦略を加速してまいります。

2017年3月期第2四半期の業績

**防衛省PFI事業に関する特別損失を計上するも、
6月に修正した通期業績予想に対しては計画通りに進捗。**

「中期経営計画2020」の初年度が折り返し地点を迎えました。

当第2四半期は、有料多チャンネル事業は累計加入件数の減少に伴い視聴料収入が減少しましたが、広告宣伝費等の削減効果で増益を確保しました。宇宙・衛星事業は、国内衛星事業や移動体衛星通信事業は堅調に推移したものの、一部の海外顧客からの収入減により減収減益となりました。

営業収益は79,318百万円と前年同四半期比3.0%減、営業利益は営業費用の減少により11,061百万円と1.8%の増益となりましたが、6月に起きた防衛省PFI事業衛星1号機の輸送中の損傷事故に起因して発生したデリバティブ評価損807百万円を特別損失として計上した結果、四半期純利益は前年同四半期比0.3%減の7,012百万円となりました。当社グループは、本件での損失全額を衛星製造業者に請求する考えですが、当四半期としては特別損失として計上しています。それを除いては6月に修正しました業績予想に対し、ほぼ計画通りに進捗しています。

2017年3月期 下期の取り組み

**有料多チャンネル事業ではオンデマンド配信の
リニューアルにより顧客層を拡大。宇宙・衛星事業
では、低軌道衛星など新たな事業分野へ進出します。**

有料多チャンネル事業においては、ブロードバンド化、スマートフォン・タブレット等のデバイスや動画配信サービスの普及による視聴形態の多様化といった事業環境の変化が起きています。当社が提供しているスカパー！オンデマンドサービスも、今年8月末の登録件数が、今年度末の目標であった100万件を突破しました。10月には新アプリをリリースし、チャンネルも50チャンネルに増え、リアルタイムとタイムシフトを融合させた新しい視聴体験をお届けすることで、新たな顧客層を開拓します。また、(株)NTTドコモやソフトバンク(株)との間に構築した新規販路での販売促進をさらに強化し、加入者基盤の維持・拡大にも努めてまいります。

宇宙・衛星事業では、JCSAT-14(軌道上衛星名：JCSAT-2B)に続いて、8月にはJCSAT-16の打ち上げも成功し、12月より運用を開始します。革新的な成長が見込める分野として注目されている低軌道非静止衛星ビジネスにおいて不可欠となる地上局設備については、他事業者の配備が手薄なアジア・太平洋地域において

2017年3月期第2四半期

営業収益

793 億円

前年同
四半期比
3.0%減
DOWN

営業利益

110 億円

前年同
四半期比
1.8%増
UP

親会社株主に帰属する
四半期純利益

70 億円

前年同
四半期比
0.3%減
DOWN

1株当たり
四半期純利益

23.61 円
前年同四半期22.83円

2017年度第1四半期にサービスを開始すべく、茨城ネットワーク
管制センターに地上局設備を構築するなど準備を進めています。ま
た、衛星回線を災害時における医療活動支援としての利用や山岳
遭難者のライフラインとして活用する取り組みなども進めています。

中長期的な取り組み

放送の高度化を積極的に推進し、 新規衛星を軸に収益の拡大を図ります。

有料多チャンネル事業では、現在も高精細でより肉眼に近い
表現ができる4K・HDR放送を推進していますが、今後4K・
8K放送の普及促進をさらに進めるための新たな伝送路とし
て、110度BS／CS衛星の左旋円偏波を利用した放送を進め
てまいります。当社はこれまでも革新的な技術を導入し放送
文化を牽引してきたと自負していますが、このたび関連グルー
プ会社の再編を行うなど、ハード、ソフトともに来るべき4K・
8K時代へ万全の態勢で臨みます。

宇宙・衛星事業では、スカパー！サービス(110度CS)で使
われているN-SAT-110の後継機にあたり4K放送にも対応す
るJCSAT-15を当第3四半期に、防衛省PFI事業衛星2号機を

当第4四半期に打ち上げます。輸送中に損傷を受けて修理中
の防衛省PFI事業衛星1号機、Superbird-8は2017年度第4
四半期以降の打ち上げを予定しています。さらに2018年度以
降、JCSAT-17や世界最大手の衛星会社インテルサット社と
の共同事業として、当社初のHTS(High Throughput
Satellite)システム*を搭載した新型衛星Horizons 3eを投
入し、増大する移動体通信需要に対応します。これら衛星フ
リートの強化により、世界の衛星通信市場での競争力を高
め、中期経営計画で見込む収益目標の達成を目指します。

*HTSシステム・・・隣り合うスポットビームにおいて異なる周波数を用いることで有限な周
波数リソースの再利用が可能となり、衛星の仕様によっては、従来型衛星に比べて通信容
量が10倍以上となる。

株主還元

中間配当金につきましては、今年5月に策定いたしました
「中期経営計画2020」の中でお示した「年間16円または
配当性向30%で計算される配当額のいずれか高い金額」の
配当方針に基づき、1株当たり8円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜ります
よう、よろしくお願い申し上げます。

インターネット上にスカパー！が出現。 新たなスカパー！の視聴

インターネット動画サービスが普及し始めていますが、当社も、アンテナを設置しなくても、いつでも、どこでも登録すればスカパー！のテレビ番組をPC、スマートフォンやタブレットなどでご視聴いただけるマルチデバイス展開を進めています。それが、当社が提供するスカパー！オンデマンドです。このたび、チャンネルが大幅に増えたことに伴い、多彩なサービスでより便利になったスカパー！オンデマンドの新アプリをリリースしました。

スカパー！オンデマンドの新アプリが提供する リアルとタイムシフトが融合した新たな視聴体験

10月1日にリリースされたスカパー！オンデマンドの新アプリは、
ダウンロード無料、簡単操作でいつでも、どこでも見たいスカパー！の番組を提供します。

point
1

すぐに動画視聴

ログイン後、番組を選んでタップするだけですぐ動画が視聴でき、
ザッピングやEPG(電子番組表)による番組選択などが楽しめます。

point
2

パーソナライズ

お客様の契約状況やVOD(ビデオ・オン・デマンド:コンテンツを好きなときに視聴できる双方向サービス)視聴履歴に基づいて、視聴可能な番組が表示されます。

point
3

リアルタイム視聴とVOD視聴の融合

お客様が契約されているチャンネルのリアルタイム視聴とVOD視聴を融合させます。視聴可能チャンネルの番組表が表示され、現在配信中の番組はもちろん、見逃した番組や未来に放送される番組などを探すことができます。たとえばスポーツのライブ中継を視聴中でも希望の場面に遡って視聴できます。

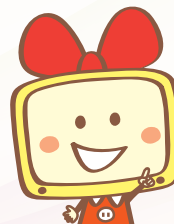
(注)ご契約状況によって表示は異なります。

スカパー！オンデマンドアプリ

http://vod.skyperfectv.co.jp/feature/spod_app



▼アプリのダウンロード(無料)はこちらから



今すぐ
ダウンロード！

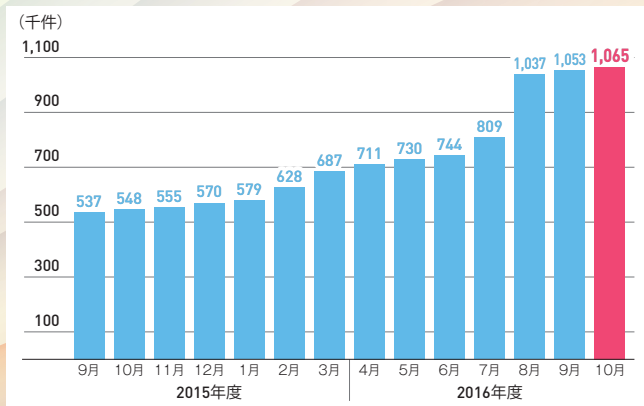
体験が、始まります。

スカパー！
on demand

会員登録件数も大きく伸長

スマートフォンやタブレットといったマルチデバイスによる映像視聴形態が広がるなか、スカパー！オンデマンドの会員登録件数も順調に伸びています。2016年8月末時点でオンデマンド会員登録件数は1,037,402件となり、ついに100万件を突破しました。

リアルタイムで視聴いただけるチャンネルも50チャンネル以上に増え、VODでお楽しみいただけるIPリニアチャンネルも30チャンネルとなり、より多彩な番組をお楽しみいただけるようになりました。スカパー！では今後も順次チャンネル数を拡大し、お客様の利便性を向上させることで会員登録件数の拡大につなげてまいります。

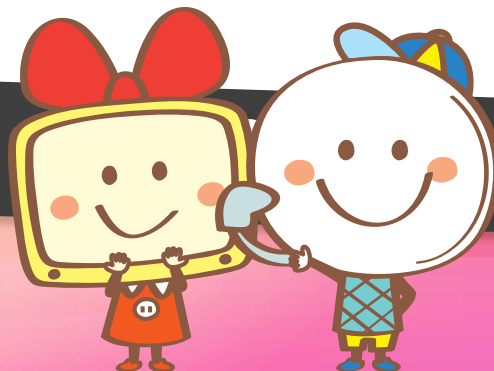


スカパー！オンデマンド会員登録件数

スカパー！加入者
の方は **おトク** に
お楽しみいただけます！

スカパー！放送サービスでご契約のお客様は、同一チャンネルが提供するオンデマンドサービス(番組)を無料または割引料金でご視聴いただけます。放送サービスにご加入中の方は、Myスカパー！IDでログインしてオンデマンド利用登録をしていただくとご利用いただけます。

※無料/割引特典の内容はチャンネル毎に異なります。詳しくはスカパー！オンデマンド公式サイト(<http://vod.skyperfectv.co.jp/>)でご確認ください。



なるほど! スカパーJSAT

当社のホットな事業や
戦略を掘り下げて
ご紹介します

スカパーJSATグループは BCPに力を入れています。



BCP(事業継続計画)とは

5年前の東日本大震災からの復興が続くなか、今年の熊本地震、鳥取県中部地震も記憶に新しいところです。地震だけでなく、台風や豪雨水害などの災害、パンデミックなどの緊急事態において、中核となる重要な事業の継続・早期復旧を可能とするための計画のことをBCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)といいます。

スカパーJSATの取り組み

当社グループは、放送と通信という公共性の高いサービスを提供しています。そのため、スカパーJSATでは役職員とその家族の安全・安心を最優先とした上で、二次災害の防止に努めること、ステークホルダーへの影響を最小限に止めること、業務の早期復旧・継続を図り、経営への影響を最小限に止めることを方針として掲げ、この方針のもと、事業毎に非常時に継続する業務を予め定めています。

有料多チャンネル事業においては、堅牢な拠点からの放送データの送出継続を可能とするBCPを策定しており、非常時にも皆様に情報を提供します。また、官公庁や地方自治体、各種インフラ企業、鉄道会社、テレビ局等をお客様とする宇宙・衛星事業においては、万が一主局である横浜衛星管制センターが被災しても茨城、山口にある副局に切り替えを行って業務を継続するBCPを策定しています。このようにスカパーJSATは有事

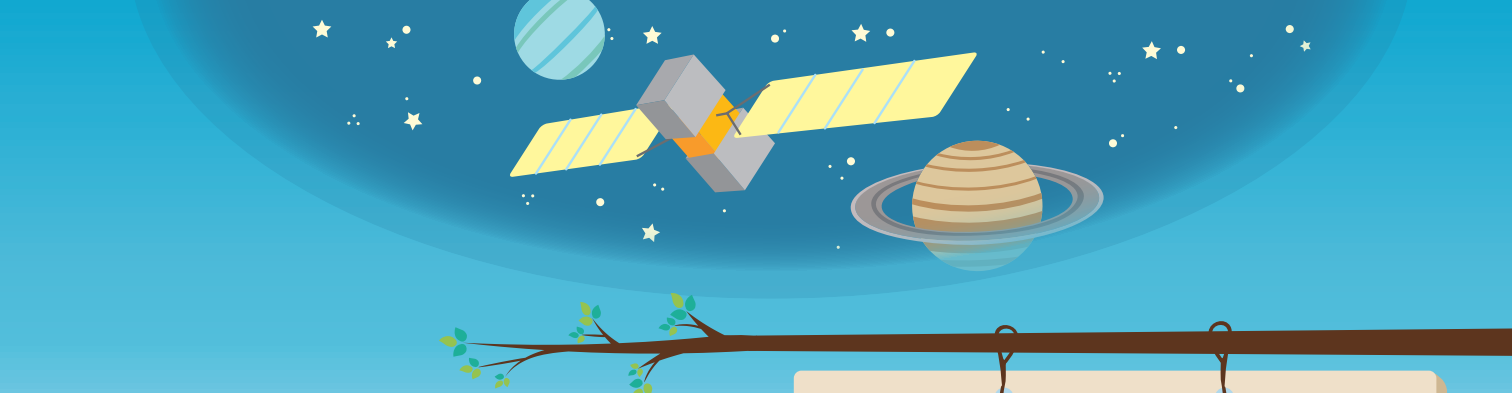
の際にも皆様の生活の安全、安心を支えるという大きな社会的責任を担っています。

さらに、平時から下記のような取り組みにより、その実効性の向上に努めています。

- 関連会社を含めた毎年のBCP訓練
- 対策本部メンバーによる初動訓練
- 非常時通信ネットワークの整備
- 各事業における非常時訓練
- 非常時徒歩参集訓練
- BCPの不断の見直し

昨年度は、訓練に先立ち社長インタビューおよび全社員への意識調査を実施し、全社的なBCP意識・認識レベルを確認の上、そ





のレベル、実効性をさらに高めるべく、初動対応や行動基準の確認に主眼を置いた訓練を行いました。訓練においては、DIG (Disaster Imagination Game)と呼ばれる、地図を使った危険箇所の想定や、被害設定に基づいた事業継続のための対策を議論しました。

さらに、訓練から抽出された課題に対応し、BCPを見直すというPDCA(Plan:計画 Do:実行 Check:評価 Act:改善)サイクルをまわすことで、BCPの実効性向上を図っています。

こうした取り組みの推進が、安定した事業継続を可能にし、お客様の信頼を維持するとともに社会的責任を果たし、企業価値の向上につながると考えています。



第1回レジリエンス認証を取得しました。

2016年7月、スカパーJSAT(株)は第1回レジリエンス認証を取得しました。レジリエンス認証(国土強靱化貢献団体※認証)とは、内閣官房国土強靱化推進室による「災害等に負けない日本(レジリエンス=国土強靱化)」の考え方にに基づき、事業継続に関する取り組みをレジリエンス認証事務局が審査・評価したうえで、「国土強靱化貢献団体」として認証するものです。



スカパーJSAT(株)は通信・放送という公共性の高い事業を営んでいることから、日頃から高いBCP意識をもって対策に取り組んできた実績を評価いただいたと考えています。

※ 国土強靱化の推進に協賛し、その促進のため自助(事業継続)に積極的に取り組んでいる企業・団体

COMMENT

衛星事業を営む当社だからこそ業務の持続安定性を確保しています。

当社は、放送と通信という重要な社会インフラを提供しているため、いざというときにサービス提供を継続できるように、常日頃から準備をしています。バックアップ設備などハード面だけでなく、運用体制、要員不足時の対処方法などソフト面も重要であり、現実的な場面を想定した訓練を繰り返し実施する事で実効性のレベルアップを図ってまいります。

スカパーJSAT株式会社
執行役員
経営管理部門
経営戦略本部長
お かわ まさ と
小川 正人



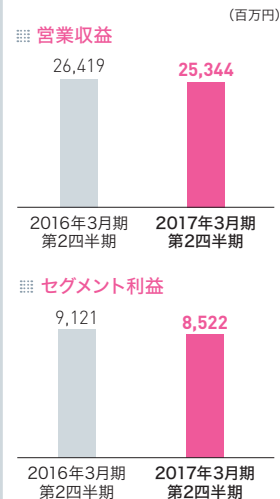


2017年3月期第2四半期の概況

国内衛星ビジネスは衛星回線の柔軟性、耐災害性、同報性などを活かした領域を中心に堅調に推移しました。移動体衛星通信ビジネスは、昨年度に開始した全日本空輸(株)の国内線機内インターネットサービスに続き、日本航空(株)等が提供する日本上空での機内インターネットサービスでも、当社グループの衛星帯域が利用されることとなりました。

また成長への取り組みとして、来年度第1四半期からサービス開始予定のアジア・太平洋地域における低軌道衛星向け地上局サービスのため、茨城ネットワーク管制センターに地上局設備を構築することを決定しています。

営業収益は、国内の衛星通信サービス収入やEsBird等のVSAT(小型地球局による衛星通信)サービス収入が増加した一方、一部海外顧客の収入減少等により、前年同四半期比で4.1%の減収、セグメント利益は6.6%の減益となりました。



注目 POINT

JCSAT-16打ち上げ成功、 軌道上予備衛星として運用開始

2016年8月14日、新たな通信衛星JCSAT-16を打ち上げました。同衛星はJCSAT-14に続きスペースX社のFalcon9ロケットによって米国ケープ・カナベラル空軍基地から打ち上げられ、無事ロケットから分離成功しました。静止軌道上での性能確認試験を経て12月から運用開始します。

JCSAT-16は、より安定した衛星サービスの提供と衛星通信事業のさらなる基盤強化を目的として打ち上げられたもので、KuバンドならびにKaバンドの軌道上予備衛星としての役割を担います。当社は同衛星の打ち上げ成功を機に、より安定的かつ高品質な衛星サービスの提供に努めてまいります。

今後の打ち上げ予定ですが、2016年12月には、当社のN-SAT-110後継機にあたるJCSAT-15がAriane5ロケットによって南米仏領ギアナから東経110度の軌道位置に打ち上げられ、主にスカパー！サービスの放送に利用されます。また同衛星は、2018年より実用放送の開始が予定されている東経110度CS放送における4K放送においても利用される予定となっており、有料多チャンネル事業の基盤を支えます。



打ち上げ時のJCSAT-16

©SpaceX



WHAT'S NEW



新たな取り組み

「ExBirdサービス」を政府総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練に提供

2016年8月6日に行われた平成28年度政府総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練では、厚生労働省DMAT（災害派遣医療チーム）からの要請を受け、当社のExBirdサービスを提供しました。

DMATは「災害急性期に活動できる機動性をもつトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員で構成されています。全国都道府県ブロック毎にDMAT隊があり、災害時には搬送病院と連携して活動しています。

今回の訓練では、地上回線が遮断された場合を想定し、ExBirdサービスを使って衛星経由のインターネット回線および音声通信回線を提供、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）へのアクセスや音声通話を早期に使用可能にしました。訓練を終えて、当社の迅速な可搬局設置や回線利用への高い評価をいただき、当社ExBirdサービスのさらなる展開へ弾みをつけました。



上：患者受け入れ態勢を確認するDMAT隊
下：ExBird可搬アンテナを設置

低軌道衛星向け地上局サービスを2017年度から開始予定

1989年のサービス開始以来、スカパーJSATは静止軌道に通信衛星を保有し（2016年11月現在、軌道に17機保有）、静止衛星ビジネスを展開してまいりましたが、今後は低軌道衛星ビジネスにも進出いたします。技術発展に伴う衛星の小型化や、廉価な衛星打ち上げサービスの拡大を背景に、低軌道衛星は革新的成長を遂げる可能性のある分野として注目されており、スカパーJSATは、茨城ネットワーク管制センターに低軌道衛星向け地上局設備を構築することを決定しています。



茨城ネットワーク管制センター



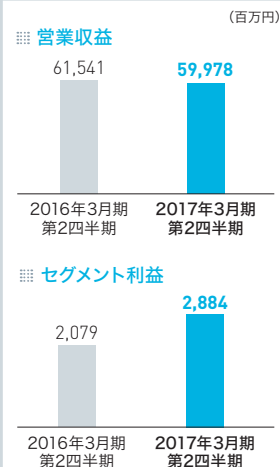
2017年3月期第2四半期の概況

スカパー！の加入者基盤の維持・拡大に向けて、6月から7月にかけて「加入料0円キャンペーン」を実施しました。加えて、光コラボレーションにおいては、ドコモショップおよびソフトバンクショップにてスカパー！サービスの申し込み受付を開始し、加入者獲得に努めました。

オリジナル番組投入による競合メディアとの差別化として、8月に連続ドラマ「弱虫ペダル」を放送したほか、9月には「リオ2016パラリンピック競技大会」を放送しました。

またインドネシア、ミャンマー、シンガポール3カ国に続き、9月より台湾でも日本の番組が見られるエンターテインメントチャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局しました。今後も展開国数の増加ならびに視聴可能世帯数の拡充を目指してまいります。

「スカパー！」累計加入件数増加により業務手数料収入が増加した一方、「スカパー！プレミアムサービス」における累計加入件数の減少に伴う視聴料収入の減少等により、営業収益は前年同四半期比2.5%の減収、セグメント利益は番組供給料や広告宣伝費等が減少し、前年同四半期比38.7%の増益となりました。



注目 POINT

WAKUWAKU JAPAN 視聴可能世帯数690万世帯に拡大！

日本のコンテンツを海外に配信するWAKUWAKU JAPANチャンネルは、これまでのインドネシア、シンガポール、ミャンマーに加えて、2016年9月に台湾、10月にはスリランカのケーブルテレビ等のプラットフォームで開局いたしました。これで視聴可能世帯数は5カ国合計で690万世帯となりました。さらに展開国を増やし、今年度末の目標1,000万世帯を目指します。

※このほかタイでは地上波デジタル放送において毎週末3時間放送しています。



インドネシア



シンガポール



ミャンマー



台湾



スリランカ

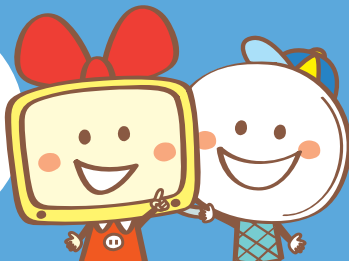


(タイ)

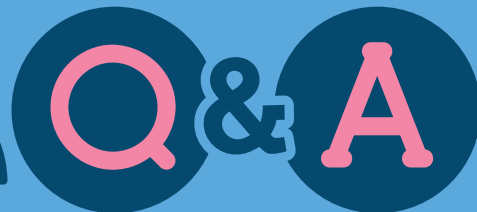
加入の状況

	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計
新規加入件数		
スカパー！ 合計	22.6万件	17.4万件
スカパー！	19.6万件	14.0万件
スカパー！プレミアムサービス	2.5万件	3.1万件
スカパー！プレミアムサービス 光	0.4万件	0.4万件
純増数	2.0万件	△3.7万件
累計加入件数	348.2万件	344.6万件

株主の
皆様の疑問に
お答えします！



ここが
知りたい



Q.1

**スカパー！オンデマンドの
登録件数拡大は
どのように進めるのですか？**

A.1

現在は衛星放送の付加価値サービスですが、今後は主力サービスとして、衛星放送を視聴できない環境のお客様にもインターネット経由で放送サービスを提供することで、新規加入の獲得につなげていきます。そのためにも、コンテンツをインターネット上に配信するための権利調整を行い、可能な限り衛星放送と同じ番組をインターネット上で流します。

スカパー！オンデマンドの番組表から過去に放送した番組や、これから放送する番組を選択して視聴することを可能にするなど、ハイブリッドキャスト(テレビ放送とインターネット通信を連携させたテレビサービス)による情報配信サービスを強化します。

❗ ここがポイント

スカパー！オンデマンドはリニア配信チャンネルが順調に拡大し、50チャンネル以上が配信されています。登録件数も100万件を超えました。

Q.2

**宇宙・衛星事業の状況と
今後の見通しを教えてください。**

A.2

グローバル事業については円高による影響、インドネシアとマレーシアの一部の大口顧客によるトランスポンダ(衛星中継器)利用減がありました。新たな顧客開拓に注力しています。ロシアにおける需要は回復傾向にあり、為替が好転すれば収益は回復すると考えています。

航空機・船舶マーケットに関しては順調に推移しており、今後も拡大傾向が続くと見込んでいます。国内事業については、電力会社等とのBCP(事業継続計画)関連の契約を予定通り更改しています。

❗ ここがポイント

アジア・太平洋地域における航空機・船舶の衛星通信需要の高まりに対応するため、2018年度に通信衛星Horizons 3eを東経169度に打ち上げる予定です。

連結財務情報

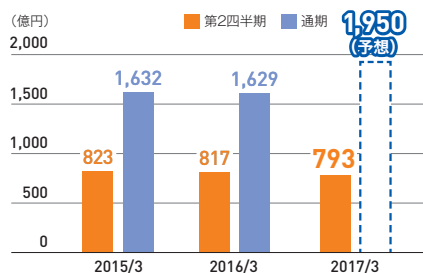
▶ 連結財務ハイライト

(単位:百万円)

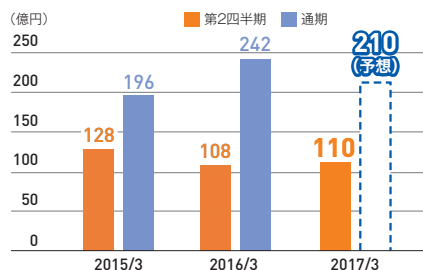
経営成績：	2015/3 第2四半期 (4/1~9/30)		2016/3 第2四半期 (4/1~9/30)	2017/3 第2四半期 (4/1~9/30)	2016/3 通期 (4/1~3/31)
営業収益	82,381	1	81,756	79,318	162,905
営業総利益	29,819		29,480	29,389	61,266
営業利益	12,830	2	10,871	11,061	24,210
経常利益	12,761		10,884	11,125	24,012
税金等調整前四半期純利益	13,554		10,939	10,321	24,292
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,056	3	7,035	7,012	16,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,365		14,069	7,678	24,806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,212		△16,470	△11,007	△28,804
フリーキャッシュ・フロー(※)	△1,846		△2,401	△3,329	△3,997
財政状況：	2015/3 第2四半期末 (9/30)		2016/3 第2四半期末 (9/30)	2017/3 第2四半期末 (9/30)	2016/3 期末 (3/31)
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,334		57,174	44,598	48,557
総資産	278,674		315,864	323,657	319,223
有利子負債残高	36,827		61,721	65,908	64,137
純資産	192,462		203,995	4 202,126	200,511

※フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

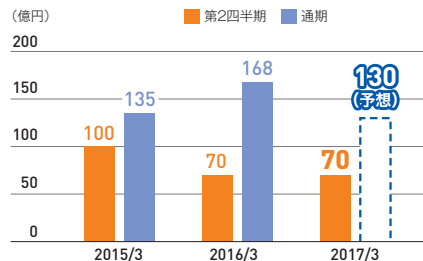
営業収益



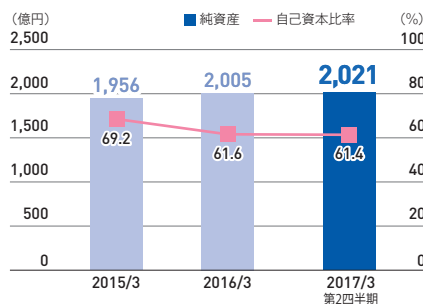
営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



純資産／自己資本比率



損益状況

営業収益①は、スカパー!の業務手数料および国内衛星通信サービス収入が増加したものの、スカパー!プレミアムサービス累計加入件数減少による視聴料収入減少や一部海外顧客の売上減少等により、前年同四半期比3.0%減少しました。番組供給料および広告宣伝費の減少等により営業費用が前年同四半期比3.7%減少したため、**営業利益②**は前年同四半期比1.8%増となりました。**親会社株主に帰属する四半期純利益③**は、防衛省より受注したXバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業に関するデリバティブ評価損807百万円を計上したことから、前年同四半期比0.3%の減益となりました。なお、当社グループは衛星製造事業者に対し、当該損失全額を請求する予定です。

キャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費に加え、たな卸資産の増加による支出、前受収益の増加による収入、法人税等の支払等により、7,678百万円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出、および長期貸付による支出等により、11,007百万円の支出となりました。営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

財政状況

総資産は前年度末に比べ、増加しました。資産の主な増加は仕掛品であり、主な減少は有価証券です。負債の主な増加は前受収益および借入金であり、主な減少は未払法人税等です。親会社株主に帰属する四半期純利益等の増加により**純資産④**は前年度末に比べ1,614百万円増加しました。

第10回株主様アンケートご協力をお願い

当社グループでは毎年株主様アンケートを実施させていただいています。ぜひ、皆様の株式投資に関するお考えや当社グループへのご意見をお寄せください。今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。回答方法は下記のいずれかの手順にてお願いいたします。



はがき

同封のはがきにご記入いただき、郵便ポストに投函してください。

ご回答メチ

2017年1月4日(水)
到着分まで



ウェブ

当社ウェブサイトへアクセスし、株主様アンケートのバナーをクリックしてください。アンケートサイトに移動しましたら、郵送された株主通信に記載のログインIDをご入力いただき、回答をお願いいたします。

URL : <http://www.skyperfectjsat.co.jp/>

ご回答メチ 2017年1月4日(水)アクセス分まで

プレゼント



アンケートにご回答いただいた方の中から**抽選で100名様**に、2017年卓上カレンダーをプレゼントいたします。なお、発表は発送をもって代えさせていただきます。

カレンダー発送時期
2017年1月中

Corporate Governance 社外取締役からのメッセージ

●社外取締役の役割と使命

社外取締役の導入が企業価値を高めるうえで有効か否かは、経営者が社外取締役をどう活用しようとしているのかにかかっていると思います。社外取締役を増やしさえすれば、経営の質が高まるというわけではありません。なぜなら、社外取締役が知りうる企業内の情報には限りがあるからで、トップマネジメントが積極的に情報開示の手立てを講じない限り、正確な情勢判断はできないからです。

当社においては、重要案件については事前説明を受け、必要な情報はその際に提供されており、取締役会においてはそれをもとに徹底的に議論が行われます。社外取締役は非常に積極的に発言しており、また、経営者も取締役会における実質的な議論を重視していると思います。経営者が事前に社外取締役に対して根回しをすることはありませんし、社外取締役にも安易な妥協に走る人はいません。

当社においては、複数の主要な株主が議決権総数の過半数を保有しており、社外取締役の中でも、どの主要な株主とも直接的な利害関係がない独立取締役の役割は非常に大きいと感じています。私自身、当社の取締役会においては常にこのことを意識して発言し、行動するように心がけています。

なか くに いわお 中谷 巖

株式会社スカパーJSATホールディングス
社外取締役

一橋大学経済学部卒、ハーバード大学経済学博士(Ph.D)。大阪大学経済学部教授、一橋大学商学部教授、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)理事長(現)、(株)WDI社外取締役(現)、(社)不識庵 理事長(現)



会社情報

■ 会社概要 2016年9月30日現在

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	815名(連結)2016年3月31日現在
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号
電話番号	03-5571-1500(代表)
URL	http://www.skyperfectjsat.co.jp

取締役及び監査役

代表取締役会長	西山 茂樹	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役社長	高田 真治	取締役(非常勤)	森 正勝
取締役	仁藤 雅夫	取締役(非常勤)	飯島 一暢
取締役	小森 光修	取締役(非常勤)	小笠原倫明
取締役	小山 公貴	取締役(非常勤)	上坂 清
取締役	横水 伸次	監査役	小川 晃
取締役	小牧 次郎	監査役	坂本 憲昭
		監査役(非常勤)	勝島 敏明
		監査役(非常勤)	藤田 徹也

■ 株式情報 2016年9月30日現在

発行済株式総数 344,603,700株 株主総数 28,727名

大株主

株主名	持株数	持株比率*
伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)	76,568,800	25.78%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	26,057,000	8.77%
日本テレビ放送網(株)	20,891,400	7.03%
(株)東京放送ホールディングス	18,434,000	6.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・三井物産(株)退職給付信託口)	13,405,200	4.51%
住友商事(株)	11,129,200	3.75%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	6,977,000	2.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	6,460,900	2.18%
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505001(常任代理人(株)みずほ銀行)	4,254,486	1.43%
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	4,129,800	1.39%

上記のほか、自己株式が47,595,852株あります。

* 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口

証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

お問合せ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券 本店および全国各支店／プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行 本店および全国各支店

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

スカパー!
ご加入者なら
無料で楽しめる

スカパー!の

おまけ

チャンネル、

BSスカパー!

1chでも契約するとともに付いてくるスカパー!の“おまけチャンネル”、
「BSスカパー!」では、音楽、バラエティ、ドラマ、スポーツ、ニュースと
多彩なジャンルをご用意しています。
今回ご紹介するのは韓流番組をご紹介する「韓流ザップ」です。

あの韓流
スターのマルチ
情報も?!



韓流番組をザッピングで楽しむ新感覚バラエティ

「韓流ザップ」は、音楽・映画・ドラマ・バラエティなど、スカパー!で放送中の韓流番組のオイシイところをザッピングして楽しむ無料番組。全部見たいけど見る時間がない!という韓流好きの方にも、とてもお得です。MCの高橋茂雄(サバンナ)さんと、韓国出身の人気アーティストKさんが多彩な韓流スターをゲストに迎え、この番組だけの情報やプライベートな素顔に迫ります。韓流ファンは必見、韓流に興味がない方でも面白くご覧いただける番組です。どうぞお楽しみください。

BSスカパー!チャンネルをお楽しみいただくには…

- ▶スカパー!をご契約の方は**チャンネル241**、プレミアムサービスをご契約の方は**チャンネル585**に合わせるだけで、**24時間無料**でご覧いただけます。
- ▶スカパー!未加入の方はまずスカパー!にご加入ください。

スカパー!

<http://www.skyperfectv.co.jp/guide/>

プレミアムサービス

<http://www.skyperfectv.co.jp/premium/guide/>

お問い合わせはスカパー!カスタマーセンターへ フリーダイヤル:0120-039-888

※お客様の個人情報に関する取り扱いにつきましては、当社公式サイト上のプライバシーポリシーをご確認いただき、同意の上、お申込みください。

無料放送

毎週火曜日 後11:00~深1:00

